

鹿島小だより

第67号 平成31年3月6日(水)発行 文責:鈴木

【電話】0244-46-2240【ホームページ】<https://minamisoma.fcs.ed.jp>

平成30年度重点目標「話し合おう やってみよう」

授業参観ありがとうございました



1日(金)には、今年度最後の授業参観を行いました。年度末のお忙しい中にもかかわらず、たくさんの保護者の皆さんにお越しいただき、本当にありがとうございました。お子さんの学習の様子はいかがでしたか。この1年間で、お子さんはどのような成長をしたのでしょうか。昨年4月に入学した1年生は、しっかり文字の読み書きをしたり簡単な計算ができるようになったりしました。6年生は、もう少しで卒業です。学習面での充実はもちろん、体も心も大きく成長したことでしょう。それぞれの学年で、この1年間に学習したことをしっかりと身に付けるために、総まとめの時期に入っています。また、卒業式に向けてその練習が少しずつ始まります。有終の美を飾れるようにもうひとがんばりです。

ミシンを使って心を込めて

6年生は家庭科の時間に、小物作りに取り組んでいました。家庭科は5・6年生での2年間しか学習しませんが、その総まとめとしてミシンを使って作業に取り組みました。クッションやトートバッグ、ざぶとん、エコバッグ、お弁当包み、エプロン、カラフルポケット(壁掛け)などの7つの作品から自分で作ってみたい物を選んで、それぞれが作業に取りかかりました。寸法をきちんと測ってはさみで布を切り、ミシンはもちろん手縫いでこつこつと仕上げた人もいました。今回取り組んだ作品は、1日(金)の授業参観の際に子どもたちから保護者の皆さんへプレゼントされました。お子さんが心を込めた作品はいかがでしたか。きっと、6年生一人一人の思いが伝わったことと思います。小学校卒業の記念として、これからもずっと愛用されることを願っています。



《裏面もご覧ください》

休みの日に、何気なくインターネットで震災関連のサイトを見ていたら、こんな書き込みを見つけました。当時のことをいろいろと思い出して、様々な思いが頭の中を巡りました。あの日からもうすぐ8年です。

- ◆ 豚汁の炊き出しが始まると、高校生くらいの男の子が真っ先に飛んでいった。勝手だなと思って見てたら、豚汁を足の不自由な老婆の所へ持って行って、「あったかいうちに食べてね。」と言い残すと、自分のをもらいに長い行列の後ろに並び直してた。
- ◆ バイト中に地震があって、ほぼ満席の状態からお客さんに外に避難してもらいました。食い逃げ半端ないだろうなと思っていましたが、ほとんどのお客さんが戻ってきて会計してくれました。ほんの少しの戻られなかったお客さんは、後日わざわざ足を運んでくださいました。
- ◆ 東横線の車掌さんのアナウンス「大変なことになってますが、ここが頑張りどころです。みんなで力を合わせて乗り切りましょう。」たぶんマニュアル外だと思う。
- ◆ 募金箱の前にて幼稚園くらいの男の子と母親の会話。母「貯めてたのに本当にいいの？」 子「3DS我慢する。これで地震の人の家建てる。」と言い、お年玉袋から5,000円を寄付。母「偉いね。地震の人、これで寒くなくなるね。」男の子思わず号泣。後ろにいた私、大号泣。
- ◆ 全然眠っていないであろう自衛隊員の旦那に、「大丈夫？無理しないで。」とメールしたら、「自衛隊なめんなよ。今無理しないで、いつ無理するんだ？言葉に気を付けろ。」との返事が。彼らはタフだ。肉体も精神も。

祝・ホームページアクセス数7万5千回超！

いつも本校のホームページをご覧いただき、本当にありがとうございます。皆さんがたくさん見てくださっているおかげで、これまでのアクセス数が延べ7万5千回を超えました。3月に入り、卒業式まであと2週間あまりとなりました。学年末の慌ただしい時期ですが、22日(金)の卒業式までの子どもたちの様子をこれからもお伝えしていきます。



お知らせ

3月の給食は、6年生のバイキング給食や1～5年生のセレクト給食、さらにインフルエンザでの学級閉鎖による給食実施日の調整などがあり、学年・学級によって給食がある日とない日（お弁当）があります。お弁当を忘れることなどないように、学年だよりや連絡帳等でご確認ください。